

## 海外研修 1, 2 日目

### 3月9日 出発日

オーストラリア-グローバルリーダー育成プログラムの出発の日を迎えました。集合場所の新高岡駅では、昨夜からの寒気により外気温3度と厳しい日となりました。時より小雪ちらつき、時には日差しも差し込むという天気は、まさにこれからオーストラリアに旅立つ、生徒様の心の状態を表すかのようでした。新高岡駅の観光案内所前に、早い生徒様は10:40頃よりお見えになられ、集合時間の11:30には、生徒様達全員の笑顔が揃いました。生徒様の表情は、皆さん一様に不安と期待感に満ち溢れて見えます。

出発式では、中村校長先生より元気にたくさんの体験を積んでくださいとお言葉を頂き、大勢の保護者に方々に見送られ、参加する生徒様から、行ってきますーと声を発し保護者も暖かく答える微笑ましい光景の中、北陸新幹線へ乗り込みました。大きなスーツケースを携えて乗り込む新幹線も、皆一丸となって行動しました。

新幹線の車内では、偶々、長野駅より乗り合わせて来られたオーストラリア人女性の Marauさんと Shaneさんから話しかけられて、思いもがけず、会話もできました。彼らは、長野県のスキー場からの帰りだったようですが、帰国先もブリスベン近郊ともあり、会話がとても弾みました。そして、オーストラリアは夏から初秋シーズンを迎えたが、30℃以上あるので体調に注意し、たくさん良い体験してオーストラリアの魅力も感じて欲しいとコメントされました。また、オーストラリアの挨拶は、God day (グッドダイ) と訛るから注意してと微笑んでくれました。生徒様全員と会話できた訳ではありませんが、そのご夫人は、皆さんと話すことができ、とても良い思い出になったと感謝して座席に戻っていかれました。

大勢の人が行き交う東京駅到着し、次は成田エクスプレスへの乗り換えです、途中何度も人数点呼し、発車番線へ向かいますが、人の多さに圧倒されながらも、無事乗り込むことができました。

成田空港には予定通り到着。初めて扱う機械操作でのカンタス航空の搭乗手続き後、各自にて機械操作で荷物も預けることができました。成田空港到着の時には、お腹を空かせる生徒様もいらっしゃった為、空港内見学研修も含め、30分間の自由行動を行いました。

いよいよ、出国。出発便が掲示されている大きなボード前で集合写真撮影後、各自にて手荷物検査と、パスポート検査を終え、問題なく日本出国を終えることができました。出国を終えたその表情には、ここまでやり終えた達成感の笑顔が見えました。搭乗口へは、グループ行動で向かいました。

途中、数多くの施設に興味をそそられながらも、時間通り、集合され、予定通り定刻出発のカンタス航空62便にて、日本を飛び立つことができました。

機内では、配布されるオーストラリア入国カードを戸惑いながらも記入し、初めて提供される機内食にドキドキ、ワクワク感を持って、ビーフ、チキン、パスタから選択しました。映画や音楽を聴きながら過ごす生徒様もありましたが、飛行機は揺れることもなく快適に航行を続けました。朝早かったこともあり、全ての方が機内で、睡眠を取ることができました。

### 3月10日 オーストラリア ブリスベン到着

外気温 30℃超え、晴天

到着間際、飛行機も少し揺れ、エアポケットに入った為、不安感からか機内ではちょっとした声が上がりました。その揺れも長くは続かず、無事定刻予定時間より少し早く6時にブリスベン国際空港に到着となりました。機内では忘れ物を充分確認して降機し、入国検査場に向かう表情は、長い飛行機での旅を終え、少しは疲れているものの、これからスタートする期待感に満ち溢れていました。入国検査を前にとっても真剣な顔立ちの生徒様も多数見えました。日本国はオーストラリアとの友好関係国の為、e-passport

検査の電子審査を受ける事ができ、とてもスムーズに検査を終える事ができました。数名はオーストラリア移民管理局からランダム選出されて、入国オフィサーから口頭にて確認作業がありましたが、ハキハキと対応され、問題なく審査もクリアされました。入国検査の後には、動植物検疫検査となり、さらに緊張感を増す生徒様もいらしたようです。

オーストラリアは、特別危惧種扱いの動植物が多い為、非常に厳しい検査を行うことで有名な国ですが、生徒様にはオーストラリア人も世界を旅してきて食品のお土産持参しないということではなく、正直に申告する事で持ち込みを許される品物も多いことも説明、飴玉一つ持っていたとしても食品持参として申告する事を案内すると、表情も和らいだ感じがしました。検疫検査官らは、食品について質問しましたが、しっかりと口頭申告されていました。数名は、更に、荷物の X 線検査を受けることになりましたが、問題なく検査を終える事ができました。生徒様の中には、パックご飯を持参されていた方もいらっしゃいましたが、検疫上、申告頂いたので問題なく検査も終える事ができました。生徒様からはしっかりルールに従って申告すれば、いいって事ですねと、納得された表情を垣間見る事ができました。そして何事もなく無事に入国を終え、全員の表情からも笑顔が戻ってきた感じを受けました。

## 感動の再会

ブリスベン国際空港と到着ロビーで、集合写真を撮影しようとしていた矢先、新幹線内で言葉を交わしたオーストラリア人女性の Marau さんと Shane さんが手を振ってくれていました。感動の再会に、生徒様方から歓声も上がり、全員で写真撮影することになりました。撮影する時の掛け声は、勿論、Goody mate！（グッダイ マイト）と満面の笑みを皆さんから頂く事ができました。本当にお二人に再会出来た喜びを伝えると、お二人からも、またここで再会出来たことに感動している。感謝したいと共感してもらえ、我々のバスを最後まで見送ってくださいました。

バス車内では、現地のコーディネーターの Mia さんよりまず挨拶の大切さの話をして頂きました。わからない場合もしっかりわかるまで確認することが大切。である事やホームステイ時の下記注意等も頂きました。

- 1.多民族国家、多文化の為、そのホスト家庭の事情を理解し合わせて生活すること。その家庭の料理も異なる。例えばインド国籍の家庭であれば、必然としてスパイス料理も多くなる事も多いが、無理に我慢はせず、苦手なものは伝えることが重要。さらに提供される料理の量についても希望を伝える事が大切です。
- 2.水不足もあり水道料金も高額の為、水の使用方にも配慮が必要で、シャワー時の水の使い方も出しっぱなしにしない。
- 3.飲み水は、蛇口から出た水で問題ない。
- 4.電気もこまめに節約に心がける。
- 5.自分の部屋のベットも綺麗に片付ける。
- 6.オーストラリア人は夜更かししない人たちの為、21時にはベットに入る人が多い。友人との話し声や携帯電話で話す事は考えるようにする。

## 公共交通機関利用について

- 1.各家庭により条件も異なる為、コミュニケーション時に利用の仕方は再確認しておく。
- 2.バス利用には Go card が必要になる。
- 3.Stop ボタンで停車リクエストする。

但し、車内で放送はない。

4.時刻表を元に運行も、早く来る事や遅れる事もある。  
より具体的な案内であり、生徒様方にも深く伝わったと感じました。

#### St.john's Anglican College 到着

朝 8:30 今回の目的地 St.Johes Anglican College に到着。すでに全ホストファミリーが到着し、我々の姿を待ち侘びてくれていました。ホストファミリーとの引き合わせは、スムーズに行われました。ホストファミリーとの初対面の撮影ではなく、少しの緊張とホームステイが始まる期待感に包まれ、ホストマザー、ファーザーと話される姿が見えました。齊藤先生、今村先生は大忙しで、ファミリーと生徒様のショット写真撮影、コーディネーターは、スケジュール確認等を行い、生徒の皆さんは笑顔でホスト家庭に、向かって行きました。

今日は日曜日、お昼寝ご飯を頂いた後は、どのように過ごしたのか？明日の朝のリアクションが、楽しみです。

